

2006年3月期

中間決算説明会

2005年11月14日

石油資源開発株式会社

注意事項

本資料もしくは本日お渡しする資料に含まれているデータのうち、歴史的事実でないものは、現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれる全ての表、チャート、グラフ、図表等に関する著作権は当社が有しています。事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

本資料において 1H, 2H はそれぞれ上期、下期を、(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。
また、本文中において ”revised” または “revised estimate” と記載されている数値は、修正後の予想数値です。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、
石油資源開発株式会社 企画室IRグループ（電話：03-5461-7481）までお願いいたします。

目次

- . **事業の概況**
 - 代表取締役社長
 - 代表執行役員 棚橋 祐治
- . **2006年3月期 - 中間期 実績**
 - 常務執行役員 佐藤 弘
- . **2006年3月期 - 通期業績見通し修正**
 - 常務執行役員 佐藤 弘

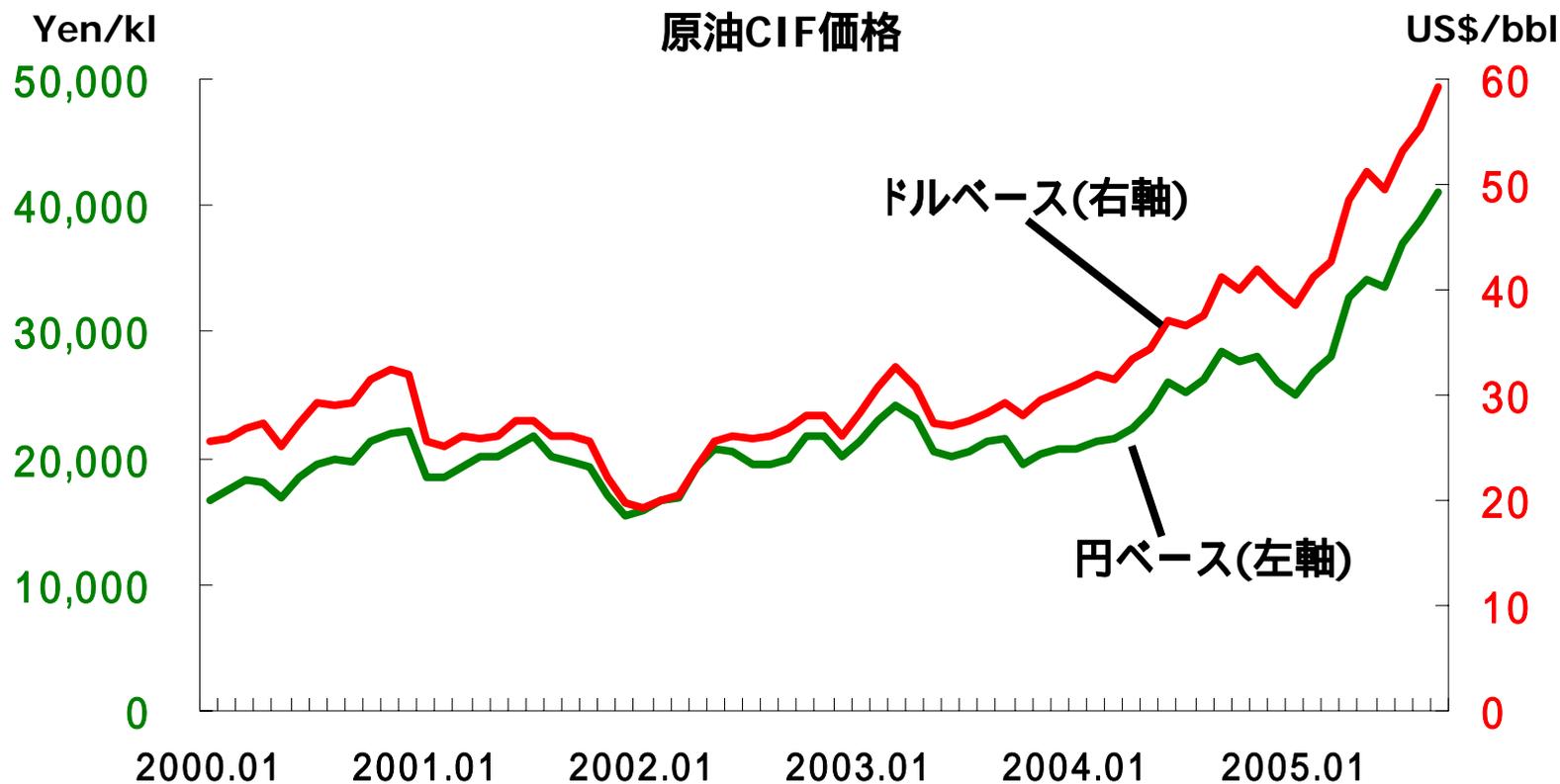
事業の概況

代表取締役社長

代表執行役員

棚橋 祐治

原油価格の動き



- ✓2005年9月の円建CIF価格は、1985年9月以来 20年ぶりに4万円台
- ✓2005年9月のドル建CIF価格は、59ドルを突破し、最高値更新

上期事業ハイライト

国内探鉱

- ✓ 試掘井4坑、探掘井2坑の掘削作業が終了
- ✓ 「岩船沖西MS-1」、「東新潟MS-45」、「東新潟MS-46」で良好な結果

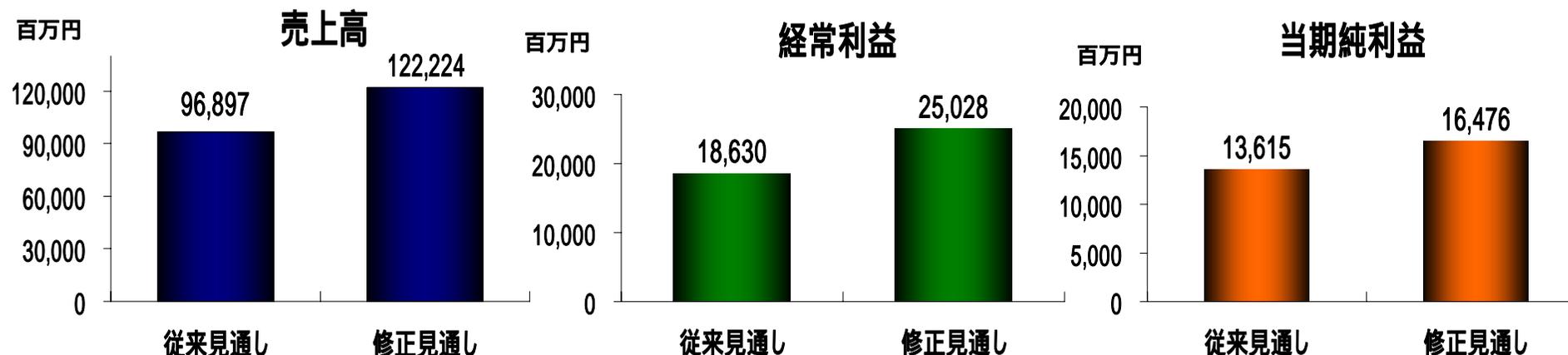
設備投資

- ✓ 郡山パイプラインは、07年3月の完成に向け順調に建設工事進捗
- ✓ 勇払LNG第2系列の増設工事を開始(07年度完成予定)

海外事業

- ✓ 既存プロジェクト会社は、油価高騰により業績堅調
- ✓ 北アフリカでの新規プロジェクトが成立

通期業績見通し修正サマリー



百万円	従来見通し 5月16日	今回 修正見通し		通期	増減
		1H (a)	2H (e)		
売上高	96,897	59,221	63,003	122,224	+25,327
営業利益	15,295	8,461	12,496	20,957	+5,662
経常利益	18,630	12,459	12,569	25,028	+6,398
当期純利益	13,615	8,983	7,493	16,476	+2,861

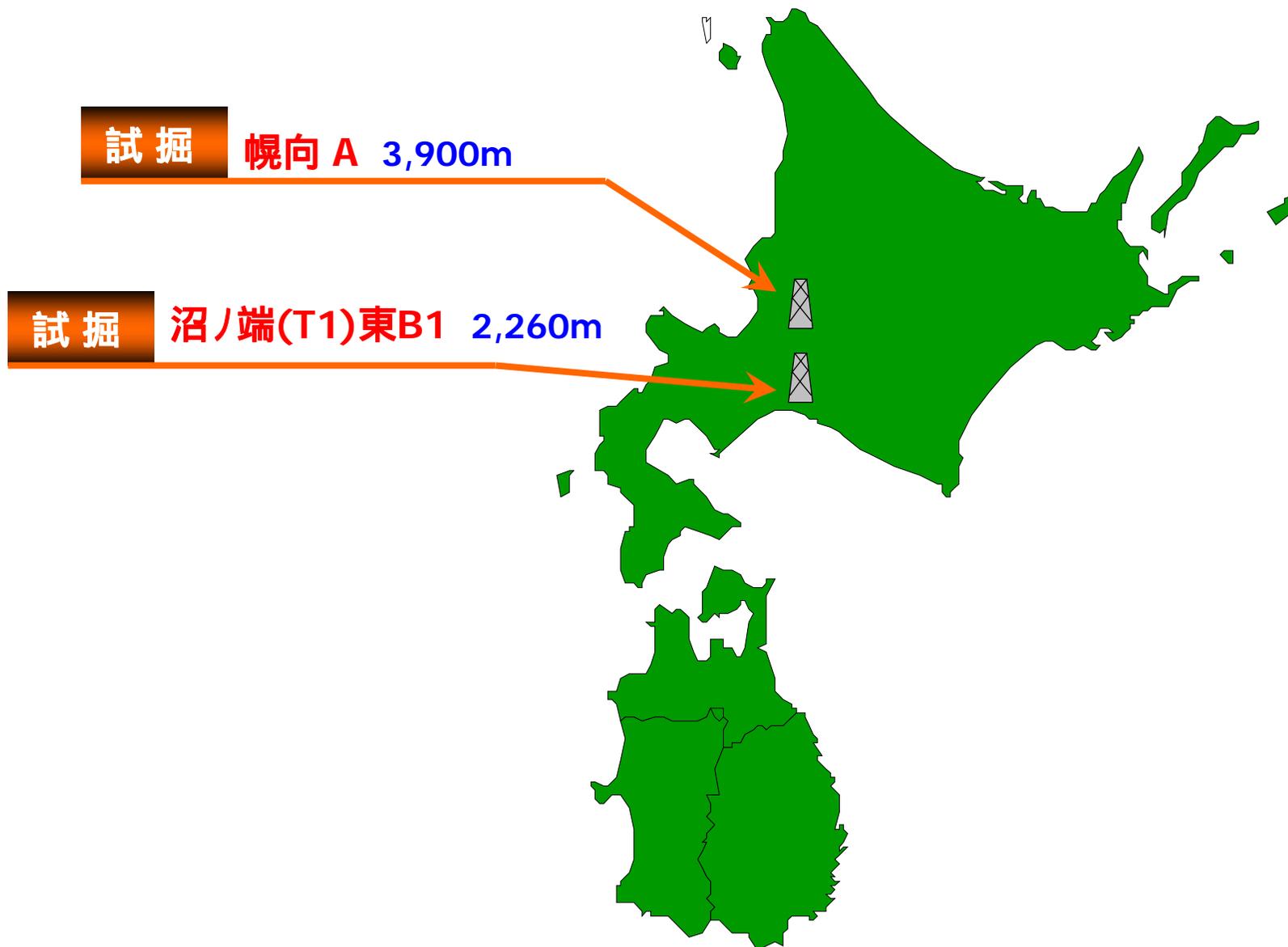
今期 試掘・探掘実績、計画

		掘削 深度	05/3	06/3			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
試掘	由利原 SK-18D	3,430m					
試掘	岩船沖西 MS-1	4,000m					
試掘	三陸沖北部 JSN-1	4,622m					
試掘	胆振沖北部 SJN-1	2,308m					
試掘	沼ノ端 (T1) 東B1	2,260m					
試掘	幌向 A	3,900m					
探掘	東新潟 MS-45	3,970m					
探掘	東新潟 MS-46	3,500m					

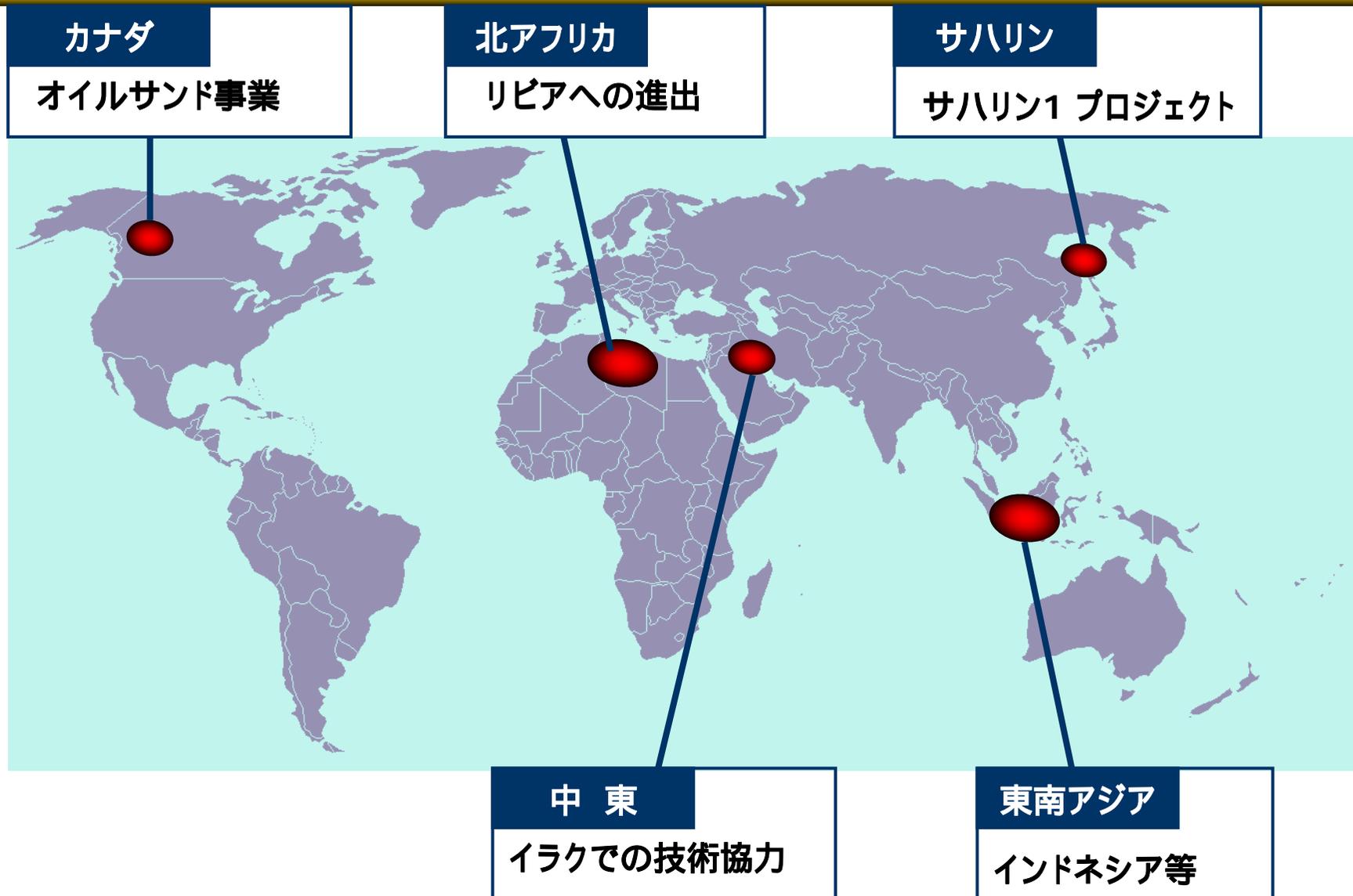
 :実績

 :計画

下期の掘削計画



海外事業 重点地域



新南海石油開発(Lufeng13-1油田)

- 2005年10月現在、10,000bbl/dで生産操業
- 下期、開発井3坑掘削し、生産量の維持を図る



サハリン石油ガス開発(サハリン1プロジェクト)

- 2005年10月、チャイウォ油ガス田よりロシア国内向け生産・販売開始
- 原油は、2005年末までに50,000bbl/d、2006年末に250,000bbl/dの生産を計画
- 海外向け原油販売は、2006年央に開始予定
- 国内向けガス販売は、60MMcfd(170万m³)で販売開始



海外事業

既存プロジェクト(2)

カナダオイルサンド

- 2005年10月現在、8,500bbl/dで生産操業
- 当面、8,000～9,000bbl/d規模の生産を継続



イラク石油省との技術協力

- 未開発油田の開発スタディを実施
- 探鉱ポテンシャルの評価作業を実施
- 石油技術者の教育訓練を実施



海外事業 リビア鉱区取得

本年10月の公開入札において、「40-3/4鉱区」及び「176-4鉱区」を落札
本事業を推進するため、ジャペックスリビア社を設立

40-3/4鉱区概要

- 当社権益比率: 42%(オペレーター)
- 探鉱期間中(5年間)、2D・3D物理探鉱及び試掘井2坑の掘削を計画
- 当社の探鉱投資額: 約20億円を予定

176-4鉱区概要

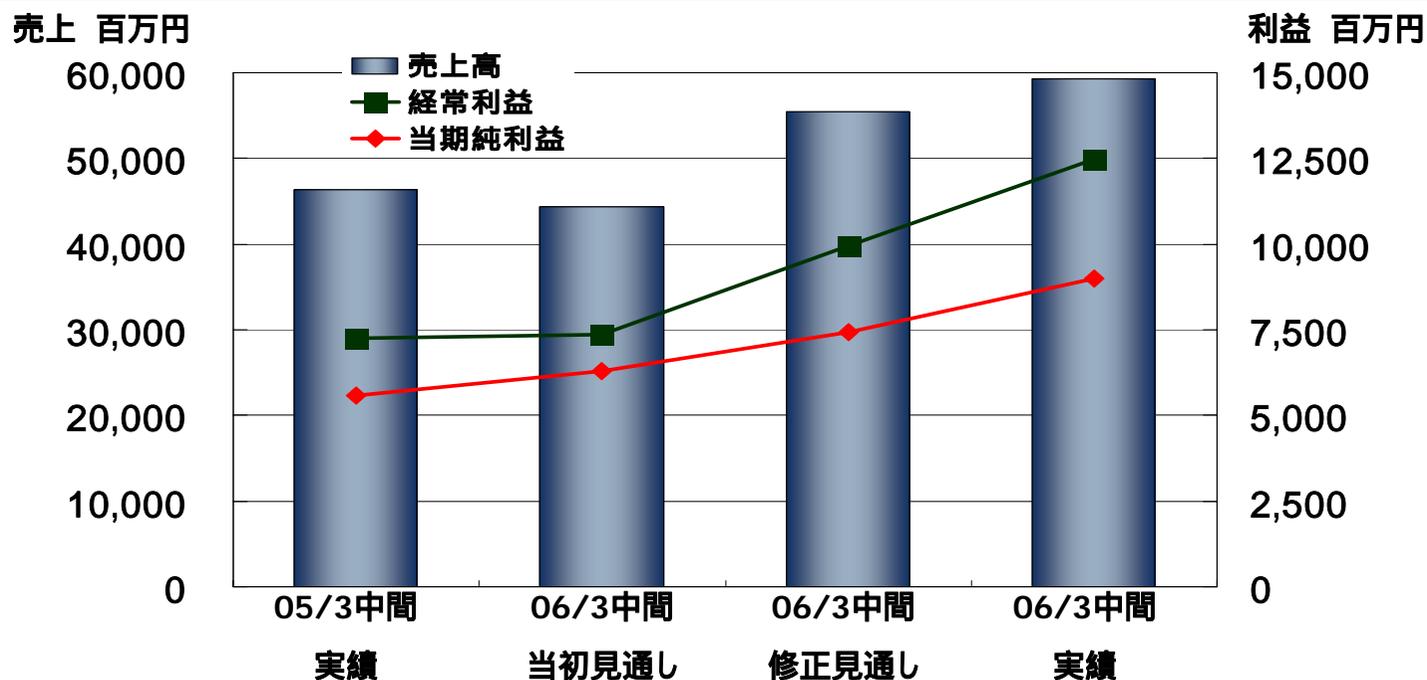
- 当社権益比率: 100%(オペレーター)
- 探鉱期間中(5年間)、2D物理探鉱及び試掘井1坑の掘削を計画
- 当社の探鉱投資額: 約35億円を予定



2006年3月期 - 中間期 実績

常務執行役員 佐藤 弘

中間決算サマリー (当初計画比)



百万円	05/3月期 中間期実績	06/3月期 中間期		
		当初見通し 5/16公表	修正見通し 8/10公表	実績 11/14発表
売上高	46,371	44,325	55,431	59,221
経常利益	7,259	7,352	9,970	12,459
中間純利益	5,583	6,282	7,424	8,983

中間決算サマリー (前年同期比)



百万円	05/3期 中間 (a)	06/3期 中間 (a)	増減
売上高	46,371	59,221	+12,849
売上総利益	16,086	25,050	+8,964
探鉱費	2,826	4,829	+2,003
販管費	10,120	11,759	+1,639
営業利益	3,139	8,461	+5,322
営業外損益	4,119	3,997	122
持分損益・海投損	2,210	692	1,517
事業損失引当金	419	740	+320
その他	1,489	2,564	+1,074
経常利益	7,259	12,459	+5,200
中間純利益	5,583	8,983	+3,399

営業利益の主な増減要因

国産原油販売 +40億円

国産ガス販売 +17億円

国内探鉱費 18億円

海外子会社新規連結

+15億円

(新南海石油 +13億円)

(ジャワ石油 +7億円)

(JACOS連調償却 5億円)

増減要因の説明は、増益要因を +
で、減益要因を - で記載。

原油販売

	04/3 中間(a)	05/3 中間(a)	06/3 中間(a)	増減 前年同期比
原油販売量(千kl)	750	693	913	+220
原油売上高(百万円)	15,705	18,476	28,823	+10,347
油価CIF(\$/bbl)	28.67	35.24	49.61	+14.37
為替(Yen/\$)	118.62	109.34	107.99	1.35

主な内訳	04/3 中間(a)	05/3 中間(a)	06/3 中間(a)	増減 前年同期比
国産原油販売量(千kl)	293	252	295	+43
売上高(百万円)	6,169	6,475	10,520	+4,044
海外子会社原油販売量(千kl)	2	2	84	+82
売上高(百万円)	48	54	3,024	+2,970
ビチューメン販売量(千kl)	-	-	226	+226
売上高(百万円)	-	-	2,231	+2,231

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、国内連結子会社1社(日本海洋石油資源開発(株))からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発(株)、ジャワ石油(株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

天然ガス販売

	04/3 中間(a)	05/3 中間(a)	06/3 中間(a)	増減 前年同期比
販売量 (百万m3)	571	552	622	+69
売上高 (百万円)	18,750	16,568	18,503	+1,935
国産ガス販売量(百万m3)	442	457	518	+61
〃 売上高(百万円)	14,578	13,647	15,320	+1,673

本資料における「国産天然ガス」の販売量及び売上高は、連結子会社日本海洋石油資源開発㈱からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。

- 北海道での需要の堅調な伸び
- 電力向け販売の拡大



前年同期比で販売量が約12.7%増加

2006年3月期 – 通期業績見通し修正

常務執行役員 佐藤 弘

通期見通し修正サマリー

百万円	従来 見通し	修正見通し			増減
		1H (a)	2H (e)	通期	
売上高	96,897	59,221	63,003	122,224	+25,327
売上総利益	47,654	25,050	30,799	55,849	+8,195
探鉱費	8,687	4,829	4,776	9,605	+918
販管費	23,672	11,759	13,529	25,288	+1,615
営業利益	15,295	8,461	12,496	20,957	+5,662
営業外損益	3,335	3,997	74	4,071	+736
持分損益・海投損	90	692	480	212	+302
事業損失引当金	917	740	27	767	150
その他	2,508	2,564	528	3,092	+584
経常利益	18,630	12,459	12,569	25,028	+6,398
当期純利益	13,615	8,983	7,493	16,476	+2,862

営業利益の主な増減要因

国産原油販売 +51億円

国産ガス販売 +9億円

国内探鉱及び

販管費増 21億円

海外子会社増益

+16億円

(新南海石油 +11億円)

(ジャワ石油 +9億円)

(JACOS 4億円)

増減要因の説明は、増益要因を
+で、減益要因を で記載。

油価及び為替の前提

	05/3	06/3	06/3		増減	
	通期(a)	従来見直し	1H(a)	2H(e)		通期(e)
油価(\$/bbl)	38.18	42.00	49.61	54.00	52.00	+10.00
為替(Yen/\$)	107.26	102.00	107.99	110.00	109.00	+7.00

3Q \$58/bbl, 4Q \$50/bbl

下期の油価が1\$/bbl上昇による利益増加額(参考値)

営業利益	200 百万円
経常利益	200 百万円
当期純利益	125 百万円

注 ビチューメンの販売価格は通常の原油価格とは異なる動きを示すことが多いため、オイルサンド事業に関する油価変動の影響は、ここに示した数値には含まれていません。

下期の為替が5Yen/\$の円安による利益増加額(参考値)

営業利益	600 百万円
経常利益	600 百万円
当期純利益	375 百万円

注 為替変動の影響に関して、左記に示したものの以外に、当社及び連結子会社の保有する外貨預金の為替レート換算差額が発生します(各四半期末毎の評価差額を営業外損益に計上)。

原油販売見直し修正

	従来 見直し	今回修正見直し			増減 従来比
		1H(a)	2H(e)	通期(e)	
原油販売量(千kl)	1,509	913	826	1,739	+230
原油売上高(百万円)	32,681	28,823	26,309	55,132	+22,451
油価CIF(\$/bbl)	42.00	49.61	54.00	52.00	+10.00
為替(Yen/\$)	102.00	107.99	110.00	109.00	+7.00

主な内訳	従来 見直し	今回修正見直し			増減 従来比
		1H(a)	2H(e)	通期(e)	
国産原油販売量(千kl)	658	295	343	638	21
売上高(百万円)	18,180	10,520	12,735	23,255	+5,075
海外子会社原油販売量(千kl)	166	84	98	182	+15
売上高(百万円)	4,793	3,024	3,953	6,977	+2,184
ビチューメン販売量(千kl)	527	226	243	469	58
売上高(百万円)	5,516	2,231	3,733	5,964	+447

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、国内連結子会社1社(日本海洋石油資源開発(株))からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発(株)、ジャワ石油(株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

通期見直し修正 【従来予想比】



天然ガス販売見直し修正

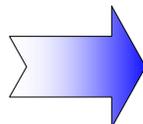
	従来 見直し	今回 修正見直し			増減
		1H (a)	2H (e)	通期(e)	
販売量(百万m3)	1,284	622	716	1,338	+54
売上高(百万円)	40,153	18,503	22,888	41,391	+1,238
国産ガス販売量(百万m3)	1,060	518	576	1,094	+33
〃 売上高(百万円)	32,391	15,320	18,009	33,329	+938

本資料における「国産天然ガス」の販売量及び売上高は、連結子会社日本海洋石油資源開発株からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。

産業向け好調で販売量見直しを上方修正。

年初計画

1,284 百万m3



今回 修正見直し

1,338 百万m3

4.2%増加

主要海外連結子会社の業績見直し

2006年3月期(単体ベース)

百万円	新南海石油開発	ジャワ石油	JACOS
売上高	5,246	1,672	5,682
営業利益	3,464	1,527	1,269
経常利益	3,702	1,586	1,281
少数株主利益	426	335	159
当期純利益	1,940	695	1,119

JACOS社の連結調整勘定償却額が、1,097百万円であるため、連結損益への寄与は、22百万円となる見直し。

前年通期(a) vs. 今期見直し (revised)

百万円	05/3 (a)	06/3 (revised)	増減
売上高	103,150	122,224	+19,074
売上総利益	42,104	55,849	+13,745
探鉱費	6,127	9,605	+3,478
販管費	21,298	25,288	+3,989
営業利益	14,678	20,957	+6,278
営業外損益	4,323	4,071	252
持分損益・海投損	1,493	212	1,280
事業損失引当金	419	767	+347
その他	2,410	3,092	+681
経常利益	19,001	25,028	+6,027
当期純利益	13,234	16,476	+3,241

営業利益の主な増減要因

国産原油販売 +80億円

国産ガス販売 +6億円

国内探鉱及び

販管費増 50億円

海外子会社新規連結

+29億円

(新南海石油 +17億)

(ジャワ石油 +10億)

(JACOS +2億)

変動要因の説明は、増益要因を+で、減益要因を-で記載。

原油販売 前年比

	04/3 通期(a)	05/3 通期(a)	06/3 通期(e)	増減 前年同期比
原油販売量(千kl)	1,528	1,380	1,739	+359
原油売上高(百万円)	32,963	38,211	55,132	+16,921
油価CIF(\$/bbl)	29.37	38.18	52.00	+13.82
為替(Yen/\$)	113.71	107.26	109.00	+1.74

主な内訳	04/3 通期(a)	05/3 通期(a)	06/3 通期(e)	増減 前年同期比
国産原油販売量(千kl)	606	584	638	+54
売上高(百万円)	12,784	15,217	23,255	+8,038
海外子会社原油販売量(千kl)	4	116	182	+65
売上高(百万円)	71	3,282	6,977	+3,694
ビチューメン販売量(千kl)	-	-	469	+469
売上高(百万円)	-	-	5,964	+5,964

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、国内連結子会社1社(日本海洋石油資源開発(株))からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発(株)、ジャワ石油(株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

天然ガス販売 前年比

	04/3 通期(a)	05/3 通期(a)	06/3 通期(e)	増減 前年同期比
販売量 (百万m3)	1,296	1,276	1,338	+61
売上高 (百万円)	42,560	39,867	41,391	+1,524
国産ガス販売量(百万m3)	1,024	1,057	1,094	+37
〃 売上高(百万円)	33,813	32,750	33,329	+579

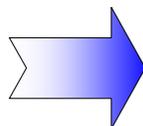
本資料における「国産天然ガス」の販売量及び売上高は、連結子会社日本海洋石油資源開発㈱からの仕入販売分を含む、当社単体決算の数値を記載しています。

➤ 北海道での販売拡大

➤ 新潟・仙台地域での産業向け販売の拡大

前年通期実績

1,276 百万m3



今期通期見直し

1,338 百万m3

4.9%増加